

## 第32回

### 審査を終えて

陶芸の部に出品された作品を見た印象は、なかなか高いレベルの作品がそろっているな、ということです。なかにはそれほど経験を積んでいない作品もありましたが、総じて幅広い作風の作品が見受けられ、特に造形的に秀でた作品が目立ちました。

審査に当たっては、明らかな疵などがみられる作品は佳作などの入賞にはふさわしくないと考え、魅力を感じた作品でも、疵のある作品は佳作からはずしました。やはり本展のようなコンクールでは、基本的な作陶の技術は重要視されなければなりません。

今回市長賞を受賞した作品「大祝鶴姫」は、伝統的な器物とは異なる造形的な作品ですが、技術的にも非常に高いレベルにあり、仕上がりの状態も良く市長賞にふさわしい作品であると感じました。市議会議長賞の「環」は、壁に掛ける形の平面的な作品ですが、デザイン感覚に秀でた作品であると思います。また教育長賞を受賞した「無題」は、器としての造形美に富んだ作品であると思います。他に心惹かれた作品としては素焼きの「土の香り」も優れた作品です。そのほか伝統的な轆轤の技術に裏打ちされた器も佳作に選びました。

今回陶芸の部に出品された方に申し上げたいことは、あわてずに乾燥をしつかり行い、余裕をもって作品を仕上げて欲しいということです。基本的なことをおろそかにせず、技術を積み重ね、そうした後に造形的なセンスを磨くことが大切でしょう。そうすればもっとたくさん優れた作品が産み出されていくと思います。そして、陶芸の部の出品点数をもう少し増やし、多くの人達が参加するようになれば、もっと素晴らしいコンクールになるでしょう。

2003年2月19日

審査員 ゲルト・クナッパー  
(陶芸・造形家)

### 陶芸の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	大祝鶴姫	佐藤俊之	平下神谷
いわき市議会議長賞	環	鈴忠壽	鹿島町走熊
いわき市教育委員会 教 育 長 賞	無題	川口江里	洋向台
<b>《佳 作》</b>			
いわき商工会議所 会頭賞	ワラ灰釉深皿	石井光栄	内郷高野町
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	土の香り	平子貞男	小川町上小川
福島県報徳社賞	片口鉢	児山敏雄	平
美術館友の会賞	森の暮色	志賀和枝	小浜町
有限会社平電子 印 刷 所 賞	板目紋六角壺	鈴木康美	好間町北好間
ギャラリー界隈賞	ピアノの脚シリーズ パート2	和地二郎	内郷綏町
ギャラリー磐城賞	青白磁カトレア文水指	伊藤由季子	小名浜上神白

## 陶芸の部 入賞者

## 審査を終えて

いわき市立美術館開館20周年、陶芸部門10回目という節目の年に審査を仰せつかり大変緊張した中での私なりの優品を選ばせて頂きました。

陶芸は、まず土を探し求め、成形、加飾、下絵、上絵等様々な技術工程を経て、素材に合った釉薬を調合施釉し、最後に窯の中で千数百度の温度で焼成しなければ作品にならないという他の分野には無い難しさがあります。時には、この世に“ゴッドハンド”が有れば窯の中に手を突っ込み、作品に「私はこういう風に焼きたいたんだよ！」と叫び、手直しをしたくなる衝動にかられる事はないでしょうか。

この市美展の出品作品と一緒に面した時、作家の情熱と苦心の跡が伺われ、それぞれの技術技法を用いられたいわき陶芸界のジャンルの広さに驚きを感じ真摯な気持ちで審査に挑みました。

市長賞の大谷巖氏「信楽焼締五角壺」はフォルムと焰色が良く合った中々の優品と感じました。これから形にボリュームを出し、条線文等を取り入れた作品造りをなされたら陶域が広がり活躍が期待されると思います。

市議会議長賞の佐藤俊之氏「セカンド・インパクト」は、市長賞と甲乙つけ難く非常に悩みましたが、昨年の作品よりやや迫力に欠けた気がします。しかし、バランスが良く取れた表情のりりしさが見事に表現された作品であり、これから的新作にまたお会い出来るのを楽しみにしたいと思います。

教育長賞の鈴忠壽氏「●」は、壁面を彩る一つの表現として炭化焼成した半円球の陶を6個を配列し、それぞれの表情を持った興味ある秀作です。

佳作になられた7点も順位の甲乙は決め難く、その中でも樋田和代氏「銅彩・搔落大鉢」、伊藤由季子氏「彩磁柏葉アジサイ文水指」は、それぞれの模様を繊細な技量で表現された心地よい作品です。特に樋田氏の作品名は「銅彩」より「釉裏紅」にされ、手掛けている作家が少ない中、一層の探究と大いに“呼ばれた”作品に期待したいと思います。

2004年2月18日

審査員 佐 藤 幹  
(陶芸家・日本工芸会正会員)

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	信楽焼締五角壺	大 谷 巖	内郷綾町
いわき市議会議長賞	セカンド・インパクト	佐 藤 俊 之	平下神谷
いわき市教育委員会 教 育 長 賞	●	鈴 忠 壽	鹿島町走熊
<b>《佳 作》</b>			
いわき商工会議所 会頭賞	銅彩・搔落大鉢	樋 田 和 代	小名浜下神白
いわき市文化団体 連絡協議会会長賞	彩 磁 柏 葉 ア ジ サ イ 文 水 指	伊 藤 由 季 子	小名浜上神白
福島県報徳社賞	B A K E T S U	箱 崎 り え	岩間町
美術館友の会賞	焼〆花器 峨廊	菅 野 征 市	小川町上小川
有限会社平電子 印 刷 所 賞	織部扇面親子組鉢	大 平 登美子	平上荒川
ギャラリー界隈賞	花 器	横須賀 政 雄	三和町上永井
ギャラリー磐城賞	春 の 訪 れ	平 子 貞 男	小川町上小川

## 第34回

### 審査を終えて

陶芸部門が加わって、今年は11回目の展覧のこと、各地に陶芸人口が増えているが、こゝいわき地方は全国屈指の広域都市だけあって、陶芸に携わる人の多いのに驚き、また、各々多彩な技法を駆使して作陶していることにも感服した。しかし、今や安易に材料が入手出来、あらゆる作陶の技法が可能となったことは、やゝもすると作者の特色を失わせる要因ともなる危険性のあることを認識せねばならない。全出品作を見渡して感じた事である。

次に際立った作品についての所感を述べてみたい。

市長賞 花器（櫛田昌弘）の無釉の角花瓶は全体の調和が良くとれた形態で、特に四方のカドの稜線が稟として端正であり、出品作の中、特に際立った美しさがある。

市議会議長賞 七武人（佐藤俊之）は数回に亘る受賞歴をもつ作者であり、今回の作も円熟味の出た大作といえる。各々の武人の造形の巧妙さが秀逸である。この世界での展開を期待したい。

教育長賞 焼〆（加藤由美）無釉の土の肌が柔らかく、火捺がほのかに現れ作品を引き立たせている。形を極度に単純化し主張を抑えて淡々とした形態に好感がもてた。花の器はこのように自らを控え目にし脇役に徹する事が肝要である。

その他にも櫛田常雄氏の焼締削壺も流動的な形態で仲々の力作といえるし、加藤朗氏の円は古代須恵器を髣髴させる姿で、加藤氏の翻訳による須恵器として成功している。

受賞作のそれぞれに熱意が汲みとれて、今後益々の精進を期待します。

2005年2月18日

審査員 潤 田 項 一  
(作陶家)

### 陶芸の部 入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	花器	櫛田昌弘	常磐関船町
いわき市議会議長賞	七武人	佐藤俊之	平下神谷
いわき市教育委員会教育長賞	焼〆花入	加藤由美	常磐関船町
《佳作》			
いわき商工会議所会頭賞	焼締削つぼ	櫛田常雄	勿来町
いわき市文化団体連絡協議会会長賞	円	加藤朗	常磐関船町
福島県報徳社賞	焼〆花器 銘花魁	菅野征市	小川町上小川
美術館友の会賞	焼締信楽花入	根本寿恵子	内郷高坂町
有限会社平電子印刷所賞	照明	横山猛	草木台
ギャラリー界隈賞	花器	小川節子	内郷綴町
ギャラリー磐城賞	中鉢ルリガラス	佐藤加代子	小名浜林城

## 第35回

### 審査を終えて

「心とかたち」・「思いと技」など、どのジャンルにおいても、表現の手段が違うだけで、根源にある種のような「核」は変わらない。「核」は人によって異なるから、表現もおのずと異なり、作品も違ってくる。オリジナリティーはすでに誰の中にも存在している。オリジナリティーを表現創出するには、自分独自のチャレンジが方向性になる。チャレンジ精神こそ芸術を志す者にとって、「核」を爆発させるエネルギーそのものであると思う。

しかし、土という素材の元ではみな平等である。それぞれが追いかけていく方向性をもつと明確にしていけば、エネルギーを効果的に表現としてつなげることが出来よう。今後より幅広い領域を横断していく発想・姿勢を期待します。

市長賞：かたちの美しさ、まとめ方のうまさ。胴から肩のふくらみ、首の絞込み、口辺の持つ柔らかさとシャープさ。焼けも実によい。

議長賞：草食性の自由さを奔放に發揮し、まとめたるよりは発散し、形をも破いていく勢いを評価。

教育長賞：生き物たちに注がれている愛情と語りを感じる作品。それを大きく写真に撮り、絵本化させていくのも展開としておもしろい。

いわき商工会議所会頭賞：緋色の良く出た作品。土の選択をもう少しパワーのあるものにするといいのでは。焼き色の中に華やかさを感じる作品である。

いわき市文化協会会长賞：単純な形を、ここまでよくまとめあげ、釉調のマットな感じと、口の厚みがよくあって、ゆったりした暖かさを感じさせる。

福島県報徳社賞：形のオリジナル性を轍轤で作っていこうとしているが、土ものの場合削り込みではない仕上げにすると良い。焼きの工夫をもっとドラマチックに。

美術館友の会賞：オブジェの作品の少ない中でのチャレンジを評価。これからの展開に期待。

有限会社平電子印刷所賞：さわやかな仕上がり、釉も成功。形へのチャレンジを評価。ミントティーが似合う。

ギャラリー界隈賞：ある完成度があり、搔きの線も、ディテールの処理も良い。二重の花びらを貼り付ける仕事の丁寧さを評価。次のチャレンジに期待。

ギャラリー磐城賞：生化粧の搔き落しというやり直しが利かない仕事。デザインに迷いが生じては出来上がらない。口辺の造りは今回は良いと思う。デザインと形のバリエーションを期待。

ギャラリー創芸工房賞：織部釉の成功。ただ、装飾表現の手に潔さ、思い切りの良さを加えていると更に良い。

### 陶芸の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	焼メ一輪差し	甲高幸男	山玉町
いわき市議会議長賞	R O U G H	箱崎りえ	岩間町
いわき市教育委員会 教 育 長 賞	陶フィギュア箸置	(ほ) (ほ) (ほ) 商会	江名
<b>《佳 作》</b>			
いわき商工会議所 会頭賞	信楽焼 締扁壺	大谷 嶽	内郷綏町
いわき市文化協会会长賞	壺	吉田 正一	小名浜玉川町
福島県報徳社賞	花 生 け	遠藤 文夫	平下神谷
美術館友の会賞	悠	平子 貞男	小川町上小川
有限会社平電子 印 刷 所 賞	魔法の入れ物	遠藤 ナミ子	平下神谷
ギャラリー界隈賞	ランプシェイド こんな蓮があつたら	高橋 由美	泉町
ギャラリー磐城賞	白化粧線文花器	荒井 三津子	常磐上湯長谷町
ギャラリー創芸工房賞	織 部 花 瓶	横須賀 政雄	三和町上永井

## 第36回

### 審査を終えて

陶芸ブームと言われて久しい。どこの市町村にも陶芸教室があり、一般の方達の陶芸への関心が高い事は、我々陶芸家にとっては、よろこばしいかぎりである。創るには良いものを作りたいと思う。良い作品とは何であろう。私は次の三点をあげる。先ず個性的であること。何処にあっても、何処に置かれても誰のものか直ぐにわかるもの。現代性があるもの、時代を先取りするぐらいの新しさが必要である。新しいものは時間が過ぎると古くさくなってしまう。三つ目は時間が過ぎてもみずみずしい新鮮さが保てるもの。以上の三つを表現出来れば皆さんが良い作品を創っていると言ってくれるのではないか。鑑審査をする時も個性的であるか、現代性があるか、みずみずしい新鮮さが保てるものか、その三点を重要なポイントとして鑑審査にのぞむ様にしている。

#### いわき市長賞

薪で焼かれた焼〆の花器であるが、伝統的な技法を使いながら現代性を感じる造型に好感が持てる作品に仕上げた秀作である。

#### いわき市議会議長賞

平凡になりがちな器の形を口を横にする事によって新鮮さを、伸びやかな線で描かれた花の模様が作者の力量を感じさせる存在感のある作品である。

#### いわき市教育委員会教育長賞

練上と言うロスの多い技法を駆使して作られた花器を、技法を目立たせずに焼物らしい作品に仕上げているところに好感をもつ事が出来る。

その他受賞した作品の中に破綻はあるが新しい試みをした作品を見る事が出来、将来に向って楽しみである。また期待したいところもある。

2007年1月31日

審査員 神谷紀雄

(陶芸家／日本工芸会理事)

### 陶芸の部 入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	舟形花器	菅野征市	小川町上小川
いわき市議会議長賞	月下美人文扁壺 「一夜の思ひ」	樋田和代	小名浜下神白
いわき市教育委員会教育長賞	練込六角壺	鈴木康美	好間町北好間
《佳作》			
いわき商工会議所会頭賞	陶容一りんご	佐藤康子	明治団地
いわき市文化協会会长賞	もよもによ月	箱崎りえ	岩間町
福島県報徳社賞	一閑張風花器	緒方延子	内郷宮町
美術館友の会賞	信楽花器	根本寿美子	内郷高坂町
有限会社平電子印刷所賞	牡丹日和	伊藤由季子	小名浜上神白
ギャラリー界隈賞	立ち雛	横山猛	草木台
ギャラリー磐城賞	頭のなかの不完全な記号	佐藤繁忠	明治団地
ギャラリー創芸工房賞	織部菊皿	伊藤純子	石森

## 第37回

### 講評

本当に選ぶのに苦労したほど力作揃いの作品が目白押しでした。

最初に賞候補作品を選んだら30点になりました。私の審査の視点は、①既存の陶芸にとらわれない生き生きとした作品であること。②本当に作りたいものであること。③しっかりと技術の勉強がうかがえるもの、という3点です。

30点の中から、10点ほどを涙をのんで入賞外にしました。さらにまた10点を減らしました。入賞を逃がした惜しい作品をいくつか挙げます。

鈴木祐美子「燈り」は、樹木の厚い木肌を通してほのかに温もりが伝わってくる心暖まる作品です。植野裕子「大小皿セット」は、白化粧の刷目が美しい。伊達義道「鉢」は、鉄釉の対照が見事で技術もしっかりした作品です。伊藤純子「織部角皿」も布目跡が見事な「まな板皿」です。同じく高橋秀章「織部釉交差紋組皿」も技術上は申し分ない作です。もう少し見込みの紋様に色々変化をもたらすとと思いました。焼き締め陶器の系統では、根本寿恵子「信楽焼締花器」は、壺形を素直に追求した作です。横山猛「花器」は、立方形という発想がユニークで表面のグラデーションも効果的です。鈴木啓介「耳付き花入」は、繊細な造形感覚あふれるものです。佐藤胤信「窯変花生」は、捻れの五面体に縄文土器のような縄目を施す処理が見事です。小川節子「花器」は、小さな口作りが緊張感をはらみ、ここにのみ施釉するというアイディアが生きた作品です。

アマチュアならではのエネルギーあふれる作品では、高橋雅仁「縄文への想ひ」は、真正面から古代のロマンに心を寄せたもの。緒方延子「舞」も不思議な生命力に溢れた作品です。源氏香の文様に王朝の楽器のような文様を組み合わせています。緒方二千夫「芋頭緑釉土瓶」も最後まで入賞か否かで迷った作品です。このたくましさは、この人にしか出来ないものです。伊藤由季子「彩磁柏葉アジサイ文花瓶」も上質な力があります。口縁部の変化も成功しています。矢部達也「酔蓮酒壺」は、何事にもとらわれない自由さに満ちています。古代中国の銅器のような呪術的な力があります。吉川俊紀「徳利と杯セット」の気品さも魅力的です。展覧会である以上、もう少しセットの量を増せば入賞です。

入賞作については、冒頭の審査視点を満たしていますから、とくに講評は必要ないでしょう。作品自体が見事にそのすばらしさを語っています。しかし、「これがなぜ入賞?」と思われる作品について、少々コメントを加えます。市川陶之臣「未来に明るい今日を送ろう」は、花器を地球儀に見立てた「社会派」の作品です。荒井三津子「魔法の壺」は、この作者しかわからない「魔法」が込められています。斎藤非魚「花器」の搔き落としの神経に感動しました。平子貞男「削り文様花器」は、プロは絶対に試みない形状と施文です。大谷巖「信楽自然釉焼締壺」は、中世の壺を大胆に現代に甦らせました。

2008年2月20日

審査員 竹内順一  
(東京芸術大学教授)

### 陶芸の部 入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	焼締銘花魁	菅野征市	小川町上小川
いわき市議会議長賞	緑彩魚文鉢	志賀文男	平下高久
いわき市教育委員会教育長賞	未来に明るい今日を送ろう	市川陶之臣	常磐下湯長谷町
<b>《佳作》</b>			
いわき商工会議所会頭賞	もよもによの月のつとい	箱崎りえ	岩間町
いわき市文化協会会长賞	魔法の壺	荒井三津子	常磐上湯長谷町
福島県報徳社賞	織部組皿	鈴木信子	好間町北好間
美術館友の会賞	焼メ壺	和地二郎	内郷綴町
有限会社平電子印刷所賞	花器	斎藤非魚	小川町柴原
ギャラリー界隈賞	削り文様花器	平子貞男	小川町上小川
ギャラリー磐城賞	釉裏紅搔落文壺	樋田和代	小名浜下神白
アートスペース泉賞	信楽自然釉焼締壺	太谷巖	内郷綴町

## 第38回

### 講評

本年度の市民美術展に向けての応募陶芸作品は83点で、一堂に集められた作品群には大いにエネルギーを感じとれた。その中から「市長賞」「市議会議長賞」「教育委員会教育長賞」の3賞の他、佳作として7点を選ぶこととなり一通り全作品を熟見した後、先づ30点を選出しそのなかから20点に絞り、再々賞の対象として10点に決定した。

選定の順序は以上であったが、最終決定の20点を半数に絞る間は会場を右往左往し、一点一点細かく観察し熟考を要した。

入賞作のうち、市長賞の信楽焼締壺「宇宙への想い」は、題名の宇宙を想わせる造形と余裕さえ感じさせる灰被りの釉調共に完成度が高かった。市議会議長賞の「釉裏紅搔落文大皿」は、ロクロ造形の大皿に難しい釉裏紅の表現が力作に値する。作者には、発色にいま一層励まれんことと存ずる次第。教育長賞に決まった「つちのことそのすまい」は二点連作の量感もさること乍ら全体から發散する緊迫感にうたれる。まさに現代のオブジェ的作品といえよう。

佳作作品は、それぞれにユニークな一面を持ち高く評価してよいと思う。

「雛祭り」は土の性質を生かし乍ら何気なくこまやかに表現された作品。「カンナ模様花器」は、ボリュームと共に緊張感がある。「燈かり」は、まさに今の季節即ち一花待ち月一にふさわしい優品だろう。「信楽焼締花器」一焼締作品はフォルムと窯変が決定する陶器であり、まさにそれを云わんとしていると思う。「守破離」は、非常に繊細な造形表現乍ら採光の実用性も兼ねそなえて楽しい。「注器・ガネーシャ」は、一見土器風な質感に思えるが、プリミティブな表現は見る人の心にひびく。「拡散」は、題名が示す物語を示さんと伝わって来た。

以上がそれぞれの短評です。現今では陶磁器の觀賞の幅が大きく他のジャンルと複合する場合が増えました。古く言われて来た言葉に、三要素として、「一焼け、二素地、三くり、又は三細工」があります。但し現代の私がそれに基づいているわけではありません。

いわき市の作陶家の方々のこれからのお發展を心からお祈り申し上げます。

2009年2月25日

審査員 井高洋成

(陶芸家)

### 陶芸の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	信楽焼締壺「宇宙への想い」	大谷巖	内郷綏町
いわき市議会議長賞	釉裏紅搔落文大皿	樋田和代	小名浜下神白
いわき市教育委員会教育長賞	つちのことそのすまい	箱崎りえ	岩間町
《佳 作》			
いわき市文化協会会长賞	雛祭り	矢部キヨミ	常磐湯本町
福島県報徳社賞	カンナ模様花器	平子タキ	小川町上小川
美術館友の会賞	燈かり	鈴木祐美子	四倉町上仁井田
有限会社平電子印刷所賞	信楽焼締花器	根本寿恵子	内郷高坂町
ギャラリー界隈賞	守破離	高橋由美	泉町
ギャラリー磐城賞	注器・ガネーシャ	川村ますみ	山田町
アートスペース泉賞	拡散	山川博士	平赤井

## 第39回

### 陶芸の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	炎	横山 猛	草木台
いわき市議会議長賞	吹付け文四方皿	佐藤 優美	好間町北好間
いわき市教育委員会教育長賞	焼メ花瓶	和地 二郎	内郷綴町
《佳 作》			
いわき市文化協会会长賞	-平和-かなり無防備なうた寝	鈴木 ゆかり	平下高久
福島県報徳社賞	焼締花器	根本 寿恵子	内郷高坂町
美術館友の会賞	織部縄文鉢	横須賀 政雄	三和町上永井
有限会社平電子印刷所賞	Tamadare	後藤 矩慶	田人町南大平
ギャラリー界隈賞	焼締花器	加藤 由美	常磐関船町
ギャラリー磐城賞	織部四方蓋物	鈴木 金三郎	勿来町
アートスペース泉賞	彩磁蝶花文水指	伊藤 由季子	小名浜上神白

本年度の市民美術展には92点の応募があり、大作から小品まで多種の作品が出品されました。審査は全体を数回に渡り見て、まず賞候補にふさわしいと思われる作品を20点選出し、その作品を一堂に並べて、その中から10点を選ぶ形で行いました。

審査にあたり、単に伝統的技法を使った過去に見られるような作品ではなく、現代的で独創性のある作品に重点を置いて審査に臨みました。入賞作品で市長賞に選ばれた横山猛さんの「炎」は独創的であり、表面のマチエールの変化、全体の色調などにユニークさを感じました。照明をつけた時の色調、光の見え方などにも魅力を感じました。議長賞の佐藤優美さんの「吹付け文四方皿」はシンプルなデザインで、料理を盛り付けても使い易そうなさわやかな作品で好感を受けました。欲を言うと、高台の作りに一工夫あれば形のバランスがより良い作品になったと思います。教育長賞の和地二郎さんの「焼メ花瓶」は焼メ火櫻で焼成されており、耳の付け方にも動きがありどっしりとした安定感のある作品です。全体のバランスとしては、口作りが少しうるさくなっているように思われました。佳作に入った根本寿恵子さんの「焼締花器」は、形の美しいバランスのとれた優品であると思いました。

全体的に感じた事は、もっと自分にしかない思いを込めた独創的な作品作りに励んでもらいたいという事です。過去の作品の模倣や再現ではなく、現代の時代に即した、オリジナリティーのある作品を作るよう心掛けていただきたいと思います。

2010年2月24日

審査員 佐伯守美  
(陶芸家)

## 第40回

### 審査をふりかえって

原始の時代、人間が土に触れた時が陶芸のはじまりです。彫刻も絵画もそこから出発したと考えています。最初は、神又は畏怖の対象となるものへの捧げものを入れる器だったり、あるいは呪物だったり、そしてやがて生活の為の機能が求められていくわけですが、そこに徐々に美意識が積み重なり形成されていくわけですが、それには長い時間を必要としたはずです。その間多くのものを取り込んできただけであります。しかし、したがって現代陶芸は何でも有りと思える程多くのジャンルを秘めています。私はそれら総てを肯定した上でものを見ようと思つきましたし、私自身の陶芸家としてのスタンスもそこに置いて来たと思っています。既成の権威や伝統は、それなりに認めた上で、何者からも束縛されず自由でありたいと願つきました。そうゆう由で何よりも独創性を重んじ、造形力、デザイン力、機能、思いの深さや祈りの様なもの、遊び心と洒脱さ、それに私は独断と偏見も加えた視点から作品を拝見させていただきました。

個々の作品に関して若干の感想を記すことにいたします。

#### ○山川博士さん「波」

完成度の高い作品は往々にして面白味に欠ける場合が多いのですが、この作品はとてもチャーミングです。独創性、技術、遊びの感覚もあってとても面白い一級品です。

#### ○平子貞男さん「風化オーロのたび」

やりたいことをやりたい様に全部やって、さぞや気分良いことだらうと思います。ドンドンあはれて下さい。貴兄の造形センスに期待。

#### ○緒方二千夫さん「手鉢と小皿の組もの」

土味、織部の発色、焼き、どれも上等です。もっともっと良いものを作れそうです。

#### ○塙田孝子さん「破船」

とても気に入った作品ですが、なぜだか良く分りません。多分このすばらしい執拗さに参ってしまつたのでしょうか。

#### ○渡邊輝夫さん「茶器セット」

#### ○伊藤由季子さん「彩磁「ダチュラの詩」」

共に完成度も高く良い作品です。

#### ○栄さん「幻華」

デザイン力、ロクロの力、端正、もの静か、心ひかれる一品です。見れば見る程に美しくなっていきます。当初この作品を見落しそうになって大層あわてました。とても好きです。

#### ○長野久子さん「風と波」

立体に関するセンスの良い人だと思いました。表面の処理も風と波にふさわしく好感がもてます。

#### ○箱崎りえさん「ぐるーぶ魂」

ここまで自由楽しげにやられたら何も云うことができません、参りました。しかし何かを整理するか、加えるか、さらに発展しそうな気がします。

#### ○佐藤 界さん「登竜門-蟠竜・魚群-」

個々の作品も仲々の出来でしてそれが集団となると恐ろしい様な、面白い様な、迫力があるものです。

分りやすい物語りを分りやすく表現してくれたわけですが、とても好感を持てました。

#### ○齋藤非魚さん「花器」

佳作に入れなかったことはとても残念ですが不思議な、あやしげな美しさを持った作品で最後まで心に残りました。

#### ○長郷静枝さん「織部手付深鉢」

とても良い作品です。手付鉢とありますが、もしこの手に何らかのインパクトを持たすことができたらと思い、とても残念です。

プロと並んで恥じない作品もある一方、初心者らしい初々しさが好ましいのもあり、文人好み的なものもあり、楽しく拝見させていただきました。ありがとうございます。

## 陶芸の部 入賞者

賞	題名	氏名	住所
いわき市長賞	波	山川博士	平赤井
いわき市議会議長賞	風化(オーロのたび)	平子貞男	小川町上小川
いわき市教育委員会教育長賞	手鉢・小皿(5ヶ)	緒方二千夫	内郷宮町
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	破船	塙田孝子	四倉町上仁井田
助福島県報徳社賞	茶器セット	渡邊輝夫	田人町黒田
美術館友の会賞	幻華	栄	田人町南大平
有限会社平電子印刷所賞	彩磁「ダチュラの詩」	伊藤由季子	小名浜上神白
ギャラリー界隈賞	Wind und Welle(風と波)	長野久子	金山町
ギャラリー磐城賞	登竜門-蟠竜・魚群-	佐藤界	明治園地
アートスペース泉賞	ぐるーぶ魂	箱崎りえ	植田町

2011年2月23日

審査員 高内秀剛

(陶芸家)